

性とセクシャリティの
とりどり
に寄せて
にじいろBiwako

1. 連載にあたって

NPO法人にじいろBiwako
代表理事 橋本 竜二



「自分が生まれ育った滋賀県では、まだ『LGBTQ+』について取り組んでいる団体が無い」「もっと気軽に集まれる場を作りたい」「どうせなら、一番乗りしたい」。それが、NPO法人「にじいろBiwako」を立ち上げた理由です。

私が中学生だった頃、自身の性のことでとても悩んだ時期がありました。あの頃の私は、どこかに相談するなんて全く考えられませんでした。あれから20年近くがたち、LGBTQ+のテーマが人権課題として広く浸透しつつあります。その一方で、差別的な発言がメディアで大きく取り上げられたり、SNSで否

定的なメッセージが拡散されたり、今でもこのテーマで悩み苦しんでいる人がたくさんいます。

「LGBTQ+のことなら、とりあえず『にじいろ』に聞いてみれば？」。県内でそんな風に身近に思ってもらえることをひとまずの目標に、当事者などが気軽に集まれる居場所「にじいろベース」の運営、個別相談、研修講師の3つに取り組んでいます。初回の「にじいろベース」には、16名が参加してくれました。性のことで悩んでいる人、友だちを作りたい人、このテーマを応援したい人、いろいろな方が集まりました。

この連載では、「にじいろBiwako」のメンバーが、様々なテーマや視点でLGBTQ+に関することを書いていきます。どんな人が出てくるか、楽しみにしててください。さて次回は、「私自身のこれまで」について書く予定です。たくさんの人に届くことを願っています。

“LGBTQ+”について様々な視点で

